

呪われたらどうすべきか ～ 祈りからみる日本中世 ～

徳島大学総合科学部 教授
衣川 仁

総合科学部公開セミナーは、一般の方や大学生、高校生を対象とした参加費無料の市民講座です。総合科学部の教員が、得意なテーマについて、わかりやすく語ります。

第23回は、総合科学部 衣川 仁 教授が、「呪われたらどうすべきか ～祈りからみる日本中世～」の演題でお話しします。

ごくたまに「日本は中世か!？」という表現に出くわします。それは、前近代的な事柄に対して「まだそんな“未開、なことやってるのか!?”との非難をこめた言葉です。こうした中世＝“未開、イメージの原因の一つは、宗教の比重の大きさにあるでしょう。たしかに呪いや怨霊におびえ、病気を治すためや雨を降らせるために祈る人々をみると、“未開、にみえてしまいます。しかし、神仏にすがるという意味では、現代の「縁切り」や「魔除け」も同じではないでしょうか。

こうしてみると、神仏と人々との関係は、時代により変わるところもあれば変わらないところもあることがわかります。それがなぜなのか、現代も含めて明らかにすることは手に余りますので、まずは呪いなど中世の祈りについて考えてみます。そうすることが現代の宗教を考えるきっかけやヒントになれば幸いです。

どうぞ、お気軽にお越しください。



第23回：7月26日(金) 18:30～20:00

対象：一般・大学生・高校生 参加費無料

会場：総合科学部301講義室(総合科学部1号館北棟3階) 駐車場の利用可。

詳細：総合科学部HP <http://www.tokushima-u.ac.jp/ias/>

申込み・問い合わせ先：徳島大学総合科学部事務課総務係 事前申込が必要。

TEL：088-656-9779 E-mail：sksoumks@tokushima-u.ac.jp